



お た ま 通 信

Vol.36

「およたま通信」名前の由来
大曲出張所が管理している4つの河川、雄物川、横手川、玉川、丸子川の頭文字をそれぞれとって名付けました。

「水閘門操作員講習会」を開催しました

平成25年1月28日(月)、大曲出張所管内の水閘門操作員を対象に、湯沢河川国道事務所、大曲出張所の職員参加のもと、水閘門操作員講習会を開催しました。

この講習会は、雪解けによる河川の増水が心配される前の、この時期に毎年実施しており、ゲート操作上の留意点の確認や、疑問点や要望などについて話し合い、今後さらなる技術向上を図ることを目的に開催しています。

新規操作員6名を交えた講習会では、職員から平成24年度の河川事業、出水概要の報告や、水位データのテレビ等での確認方法、また点検時、出水対応時の留意点などの説明を行った後、質疑応答を行い問題点と今後の対応について確認しました。

今年は大曲地区の降雪量が例年に比べ非常に多くなっていることから、今後懸念される融雪出水対応に向け、当出張所と操作員の方々に連携を強め万全の体制で臨みたいと思います。

【講習会のようす】



【操作員からの質疑のようす】



「水閘門操作員」とは？

水閘門操作員は、洪水時、増水した川の水が住宅に流れこむのを防ぐため、樋門・樋管のゲート操作を行い、また洪水時に正確に操作できるよう、日常の点検を行うため、国土交通省が委嘱しています。

大曲出張所管内では、樋門・樋管が61施設、112名の水閘門操作員が対応にあたり、洪水から住民の皆さんの生活を守っています。



～住民の生活を守る重要な任務！～